

# YAMAHA

# MIDI FOOT CONTROLLER

# MFC05

## 取扱説明書

このたびは、ヤマハMIDIフットコントローラーMFC05をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。MFC05により、MIDI対応のエフェクターやキーボード等のプリセットプログラムを、足元で簡単にコントロール（切り替え）できます。MFC05をいつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの説明書をよくお読みくださいますよう、よろしく願いたします。

### 1. ご使用上の注意

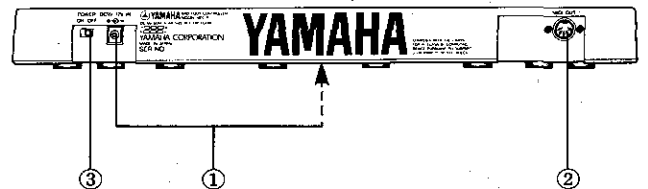
- キャビネットの変形や故障を防ぐため、直射日光の当たる場所や暖房器具など発熱体の近く、日中の車内等に置かないでください。また、湿気やホコリ、振動の多い場所、湿度の特に低い場所も避けてください。
- 分解や改造をしないでください。
- 本機に水をこぼしてしまった場合や、金属類が入ってしまった場合はすぐに使用を中止し、お買い上げ店または最寄りの弊社電音サービスセンターにご相談ください。
- ACアダプターはヤマハPA-1Bをお買い求めください。極性や出力電圧の異なる他のアダプターは、故障の原因となります。
- 物をぶつけたり落下させるなど、乱暴に取り扱わないでください。
- 本機の電源をONにしてから、接続した機器の電源をONにしてください。
- 長時間ご使用にならない時は、乾電池を取り出してください。また、ACアダプターはコンセントからはずしてください。
- 接続作業は、本機および接続機器の電源をOFFにした状態で行ってください。
- MIDIケーブルは、長さが15m以下のMIDI規格のものをご使用ください。
- お手入れの際にベンジンやシンナーなどの揮発油で拭いたり、近くでエアゾールタイプのスプレーを散布しないでください。
- 本機はデジタル機器のため、ごく近くでラジオやテレビなどを同時にご使用になりますと、ラジオやテレビ側で雑音などが生じることがあります。十分に離してご使用ください。

### 2. 準備

番号順に行ってください。

- ①乾電池またはACアダプターをセットします。両方をセットした時はACアダプターから電源供給されます。
- ②本機のMIDI OUT端子に、コントロールしようとする機器（REX50, SPX90II, REV5等）を接続します。

- ③電源をONにします。本機をONにしてから外部機器をONにしてください。なおONにすると、本機の“A”インジケーターが必ず点灯します。

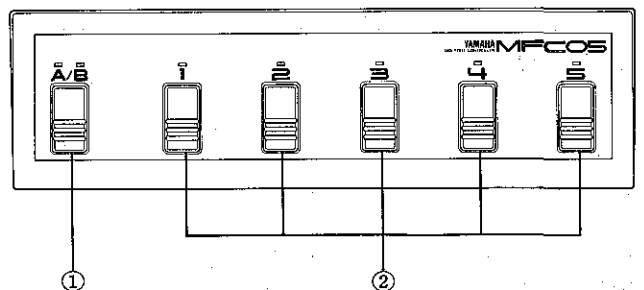


- ④接続した機器のMIDI受信チャンネルを、1チャンネルまたはオムニオンにします。（本機のMIDI送信チャンネルは1チャンネル固定です。）
- ⑤接続した機器がプログラムチェンジ表を作成できる機器の場合には、あらかじめプログラムチェンジ表を作成しておきます。つまり、本機からプログラムチェンジメッセージ（1～10）を送り出した時、希望するNo.のプログラム（エフェクトプログラム等）が呼び出されるようにします。

### 3. 操作方法

本機は、プログラムNo.1～10の範囲でプログラムチェンジメッセージを送信します。操作は次の要領で行います。

- ①A/Bスイッチを踏んでバンクAかBのどちらかを指定します。希望するバンクになっている時は、操作の必要はありません。
- ②1～5の中の該当するスイッチを踏んで、メッセージを送り出します。



※各操作に対して、次のNo.のプログラムチェンジメッセージが送信されます。

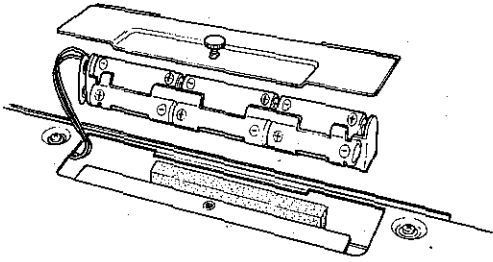
バンク	1	2	3	4	5
A	プログラム No. 1	プログラム No. 2	プログラム No. 3	プログラム No. 4	プログラム No. 5
B	プログラム No. 6	プログラム No. 7	プログラム No. 8	プログラム No. 9	プログラム No. 10

※メッセージは、バンクを切り替えた時は送信されず、番号のスイッチを踏んだ時に送信されます。

## 4. 乾電池のセット

本機には単3乾電池6本が付属となっています。乾電池で使用する時は、次のようにセットしてください。

- ①電源スイッチをOFFにします。
- ②本機底面のバッテリーカバーを取りはずします。コイン等を使ってコインスクリューを緩めるだけではずれます。
- ③バッテリーホルダーを取り出します。バッテリースナップのコードを傷めないように注意してください。
- ④単3乾電池6本を、+,-を確認しながらセットします。
- ⑤バッテリースナップをバッテリーホルダーの端子に確実に接続します。
- ⑥バッテリーホルダーを収納して、バッテリーカバーを元の通りに取り付けます。



- ※電池が寿命になると、本機のインジケータが点滅します。点滅したら、新しいものと交換してください。
- ※ステージの前には新しい電池をセットされることをお勧めします。なお、ステージでACアダプターを使用する場合も電池をセットしておくとお安心です。ACアダプターのプラグが本機の端子から抜けてしまっても、乾電池で作動します。
- ※ACアダプターで使用する時でも、バッテリースナップはバッテリーホルダーの端子に接続しておいてください。接続しておかないと、バッテリースナップの端子が内部の基板や金属部分に触れて故障の原因になることがあります。
- ※バッテリースナップには、本機のバッテリーホルダー以外のものを接続しないでください。

## 5. 仕様

送信内容：プログラムチェンジメッセージ1～10(MIDIデータフォーマット参照)

MIDI送信チャンネル：1チャンネル固定

ディスプレイ：A, B, 1, 2, 3, 4, 5

スイッチ：A/B, 1, 2, 3, 4, 5, POWER

接続端子：MIDI OUT, DC 9V~12V IN

電源：単3乾電池6本またはACアダプター(PA-1B)

電池寿命：約10時間(付属の電池を連続使用した場合)

寸法(W×H×D)：444mm×41mm×130mm

重量：1.2kg(乾電池含む)

付属品：単3乾電池6本

別売品：ACアダプターPA-1B

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 6. MIDIデータフォーマット

### 1. 送信条件

PROGRAM CHANGE \$CO →  $\diamond$  ch=1 → MIDI OUT

### 2. 送信データ

チャンネルインフォメーション(チャンネルボイスメッセージ)

・プログラムチェンジ

チャンネルNo.は1チャンネル固定です。

ステータス 11000000(COH)

プログラムNo. 0000pppp

P = 0 (プログラムNo. 1) ~  
9 (プログラムNo. 10)

Function	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default	: 1	: x	
Channel Changed	: x	: x	
Mode Default	: x	: x	
Mode Messages	: x	: x	
Mode Altered	: *****	: x	
Note	: x	: x	
Number : True voice	: *****	: x	
Velocity Note ON	: x	: x	
Velocity Note OFF	: x	: x	
After Key's	: x	: x	
Touch Ch's	: x	: x	
Pitch Bender	: x	: x	
	: x	: x	
Control			
Change			
Prog	: o 0 - 9	: x	
Change : True #	: *****		
System Exclusive	: x	: x	
System : Song Pos	: x	: x	
System : Song Sel	: x	: x	
Common : Tune	: x	: x	
System : Clock	: x	: x	
Real Time : Commands	: x	: x	
Aux : Local ON/OFF	: x	: x	
Aux : All Notes OFF	: x	: x	
Mes- : Active Sense	: x	: x	
sages : Reset	: x	: x	
Notes			

Mode 1 : OMNI ON, POLY  
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO  
 Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes  
 x : No

## 7. サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

### ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

### ●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1年間の無償サービスをお約束しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

### ■YAMAHA 電気音響製品サービス拠点 (お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター 〒211 川崎市中原区本町1184  
TEL (044) 434-3100  
新潟電音サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8(シルバークホールビル2F)  
TEL (025) 243-4321  
大阪電音サービスセンター 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)  
TEL (06) 877-5262  
四国電音サービスステーション 〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ高松市内)  
TEL (0878) 51-7777、22-3045  
名古屋電音サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2  
(ヤマハ名古屋流通センター3F)  
TEL (052) 652-2230  
九州電音サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472-2134  
北海道電音サービスセンター 〒085 札幌市東区本町1条9丁目3番地  
TEL (011) 781-3621  
仙台電音サービスセンター 〒983 仙台市御前5丁目7(通商共同配送センター3F)  
TEL (022) 236-0249  
広島電音サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区紙屋町西原2-27-39  
TEL (082) 874-3767  
浜松電音サービスセンター 〒435 浜松市上西町911  
TEL (0534) 65-6711

本社  
電音サービス部 〒435 浜松市上西町911  
TEL (0534) 65-5195

\*住所及び電話番号は変更になる場合があります。

### ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴する場合があります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1年間の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

### ヤマハ株式会社 LM事業本部

音響システム事業部 〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL 0534(60) 2493  
国内営業部 〒150 渋谷区道玄坂2-10-7 新大栄ビル3F  
TEL 03(476)1521  
東京事業所 〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル  
TEL 03(574)8592  
大阪事業所 〒542 大阪府南区南船場3-12-9  
心齋橋プラザビル東館  
TEL 06(252)5231  
名古屋営業所 〒460 名古屋市中区錦1-16-28  
TEL 052(201)5145  
九州営業所 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL 092(472)2155  
札幌営業所 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター  
TEL 011(512)6113  
仙台営業所 〒980 仙台市大町2-2-10  
TEL 022(222)6146  
広島営業所 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18  
TEL 082(244)3744

# YAMAHA

8711 